



校章の由来



校章の中央は、学校の所在地である幸ヶ谷の「幸」をとったものです。また、上部の  は、この地に芽生え健やかに育つ若芽をイメージしています。周囲の  は、砦をかたどったものです。

本校裏手の幸ヶ谷公園から東海道線をはさんで対岸の本覚寺あたりまでは、かつて権現山と呼ばれる小高い山でした。戦国時代(1500年頃)、関東管領上杉氏の家臣上田蔵人が小田原の北条早雲に寝返り、砦を築いたのがこの権現山でした。上田蔵人は、上杉方二万人の大軍に包囲され、10日間の戦いの後敗北しました。